

# H30「健康づくりのためのスポーツ施設」再現図総評

再現図を送っていただいた皆様、ありがとうございました。30 枚余ほどですが、合格発表前のプロットとして全体の傾向性をまとめておきたいと思います。

採点結果については、<http://seizushiken.com/h30saigenzuz/> でアップします。

## □大きな差がない答案結果

問題文が突如 A2 に変わったり、敷地の 4 周からアプローチできたりと、意外性が高かった本試験でしたが、課題そのものは平易であったと考えられます。それはほとんど未完成がないこと、また普段プランニングが苦手な方でもプランとして完成していることからの推測です。ということは少しのミスで不合格になる可能性、また少しくらいプランが悪くても十分合格する可能性があることを示しています。再現図の 8 割は合格してもおかしくないし、2 割だとしたら酷ですが、それもまたおかしくないという状況です。

ですので図面を観れば合否がわかるということは全く当てはまりません。そのくらい多くの方がボーダーラインにいても過言ではない本試験でした。

その上で、合否決定の差となる可能性のある項目を 6 点ピックアップしました。このいくつ踏んでしまっているかという総合的な判断になるのか、どれかについては踏んだ時点でランク 1 から外れるのか、これが全く不明である点です。

### 1. 屋内プール室面積

屋内プール室が 1, 2, 3 階はそれほど大きな影響はないと思われます。全て成立するからです。しかし、屋内プール室面積  $450\text{m}^2 \pm 10\%$  について、いくつかの答案は  $405\text{m}^2$  を切っており、これが主要な要求室の面積アウトにつながる可能性があります。ただし、プール以外の含みが大きいため、 $405\text{m}^2$  以下でも十分プランとしては機能している答案が多く判断は分かれるかもしれません。具体的には、見学コーナーと足洗い場です。見学コーナーは厳密には屋内プール室の外であり、屋内プール室に含みません。また足洗い場は屋内プール室に含み、更衣室 A に含みません。

### 2. 屋内プール室用空調機械室

これはかなり手の込んだ引っ掛け問題になっています。屋内プール室の空調機械室が要求室に含まれていないからです。空調機械室にわざわざ「多目的スポーツ室用」と明記されており、強い悪意を感じます。プランをしながら屋内プール室 DS を描いている際に気がついた方も多いかと思います。私も本試験トライの時には、見直し時に見つけたくらいです。再現図では半数近くの方がこの屋内プール室用空調機械室を描いていません。減点なのか、主要室欠落なのかは結果待ちというところです。

### 3. 延焼の恐れのある範囲ライン+防火設備

あれだけ出題するぞーと前置きがあり、かつ 2 階、3 階平面図にまで敷地境界線が印刷されていたので、延焼の恐れのある範囲ライン+防火設備を描き忘れた答案は非常に印象が悪いです。何勉強してきたの？と言いたくなりますが、そもそも防火設備にするのはプランよりも重要なのか、という感じもします。これも減点なのか、重大な法規違反なのかは結果待ちというところです。

#### 4. 上下足ラインと空間構成

上下足分離とそのラインですが、1 階を開放的にすればするほど、そのライン引きは難しくなります。恐らく、試験作成サイドは、プール 2 階、1 階にはほとんど健康増進部門はおかずに共用部と管理部門で構成して開放的な 1 階にするプランをイメージしているのではないかと考えられます。その際、上下足ラインを風除室前で引いてしまうと、いろんなところに下足箱が出てきてしまうプランになってしまいがちです。

またプール以外はほとんど下足という考え方もありえます。どちらにせよ、論理的整合性、つまり考えた空間構成に対してどのように上下足ラインを切るかの理屈が通っているかどうか判断基準になるかと思われます。ただし、そこまでちゃんとした採点をしてもらえるかどうかは不明です。

#### 5. 一体的な使用

そもそも一体的に使用する、ってどういうことなのでしょう。その定義が曖昧なままなので、実は議論が噛み合わない可能性があるのですが、それは「常識的」に一体的な使用なのだという試験作成サイドの勝手なわがままで採点されます。

視覚的につなげればいいのか、アプローチがあればいいのか、カフェが北西にあればいいのか、北西に窓があればいいのか。また北西に管理部門や機械室があるとダメなのか。1 階は開放的であるべきなのか。

この点は様々な解釈があり多様であっていいと考えますが、どのように採点されるかはわからないのが実状です。

加えて、東京講評会で指摘があったのですが、将来、当該敷地以外が売買された場合に、主出入口が機能する必要がある、その場合、弊社解答例のように北側主出入口のみでかつ道路までの敷地内通路がしょぼいとメインアプローチとしては問題があると考えられます。

#### 6. PC 梁の上に PC 梁で室を作ること VS 階高さ

実務では普通に行われる話ですが、面積に余裕があったため、PC 梁の上に PC 梁で室を作っている（大空間の上に大空間）答案は少ないです。また多目的スポーツ室や屋内プール室を 3 階に計画したため、階高さが異様に高くなっている答案もあります。このあたりのバランスの悪さを考えると、PC 梁の上に PC 梁で室を作ることよりもそのバランスの悪さについては、減点があると考えられます。

これら全てを含め本年度は「減点勝負」になります。本試験合否発表後は、さらに分析を深め、どう減点されていたのか、試験作成サイドはどこを狙っているのかを解説予定です。

添削生の皆様、そして再現図面にご協力いただいた皆様の合格を祈っております。

平成 30 年 11 月 20 日